



TIMEDOMAIN
Timedomain Corporation

キャンペーンプレゼント・アナログレコードプレーヤー

使いこなしノウハウマニュアル

以下の使い方は、取扱説明書の指示とは違った使い方になりますのでみなさんの責任で、Yoshii9 と組み合わせて使う場合だけ行うようにしてください。

その場合に生じた不具合に対する責任や苦情はタイムドメインでは一切受け付けられません。また、本件に関してレコードプレーヤーのメーカーへの問い合わせは行わないでください。

なお、くれぐれも針の取り扱いには注意してください（針カバーを付けた状態で作業すると安全です）。

ダストカバーをつけない

（レコードプレーヤーの取扱説明書の組み立てかたの部分を参照してください）

音楽を聴くときはダストカバーは外すようにします。

ダストカバーは後ろ2箇所のヒンジで支えられていますので、ダストカバーを垂直に起こし、上方に引き上げれば外れます（ダストカバーの取り付け方の反対の手順です）。

なお、使用しないときはダストカバーをかぶせたり、紙や布をかぶせておくといよいでしょう。

付けた場合と、外した場合の音を聴き比べてみるとおもしろいでしょう。付けたままですとダストカバーのビビリ音が音楽に加わっていることがわかんと思います。

ターンテーブルの上にゴムシートを置かない

（レコードプレーヤーの取扱説明書の組み立てかたの部分を参照してください）

ターンテーブルの上に、ゴムシートを置かないようにします。

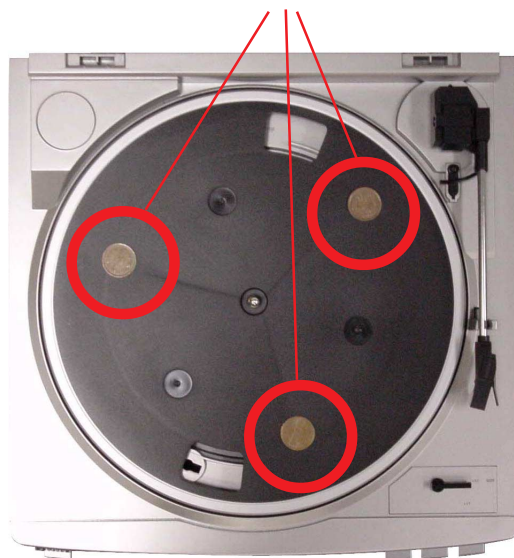
ゴムシートがなくても通常レコードに傷がいくことはまずありません。それでも、どうしても傷が気になる人にはお奨めできません。

この状態で音はかなりクリアになるはずです。

ゴムシートをつけた場合、外した場合で聴き比べてみてください。

さらに、ゴムシートを外したターンテーブルの上に10円玉を3箇所に置いて（右図参照）、その上にレコードを置くとトーンアームも水平になり、音もくっきりしてきます。

上から見た図。
このあたりに10円玉を置く



製品の足は使わない

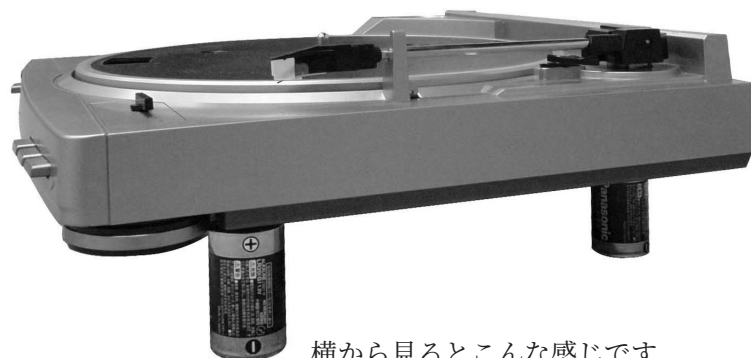
プレーヤーの底部には4箇所足（前方2箇所にプラスチック、後方にゴム）がついていますが、その部分を利用して丈夫なしっかりしたブロック状のものを3つ使って支えるように設置します。

とはいえ、そのようなブロック状のものはなかなか家庭の中にはありません。そのような場合は単1の電池（いちばんおおきな乾電池です）を3本用意します。

そして前方2箇所のそれぞれの足のすぐ後ろで1箇所ずつと前方から向かってアームの根元のすぐ左くらい（右図の赤丸のあたり）で1箇所の合計3箇所で支えます。

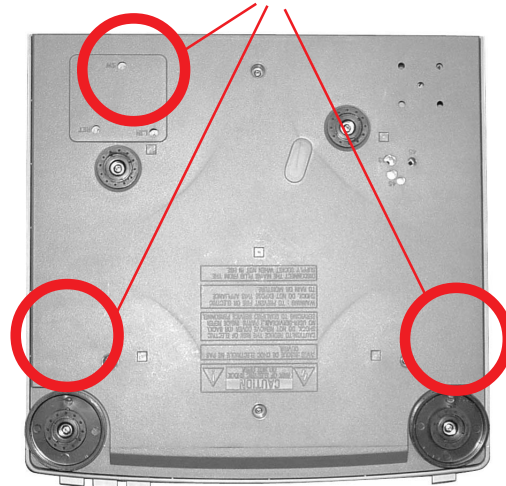
もちろんこれも、もともとの足で支える場合と乾電池で支える場合で音を聴き比べてみると違いがわかっておもしろいと思います。

（注意：製品の足に比べて重心が高くなり、安定感が悪くなることがあります。プレーヤーの転倒、落下に十分注意してください。）



横から見るとこんな感じです

ウラから見た図。
このあたりを支える



その他

接続のしかた

レコードプレーヤーのEQUALIZER AMP. のスイッチをONにして、エンジンのリアパネルのInput2に接続します。

さらに音をよくしたい方は

右図の赤丸近辺に小さな重り（単2乾電池程度のもの）を置くと音が変わります。音を聴いて場所を決めて下さい。（注意：トーンアームの動きを妨げないように、十分注意してください）

レコードを中性洗剤で洗うとはく離剤がとれて音がクリアになります。（注意：レーベルを濡らさないように十分注意してください。はがれることがあります。）

上から見た図。
このあたりに重りを置く

